

近代土木の礎を築いた 清きエンジニア

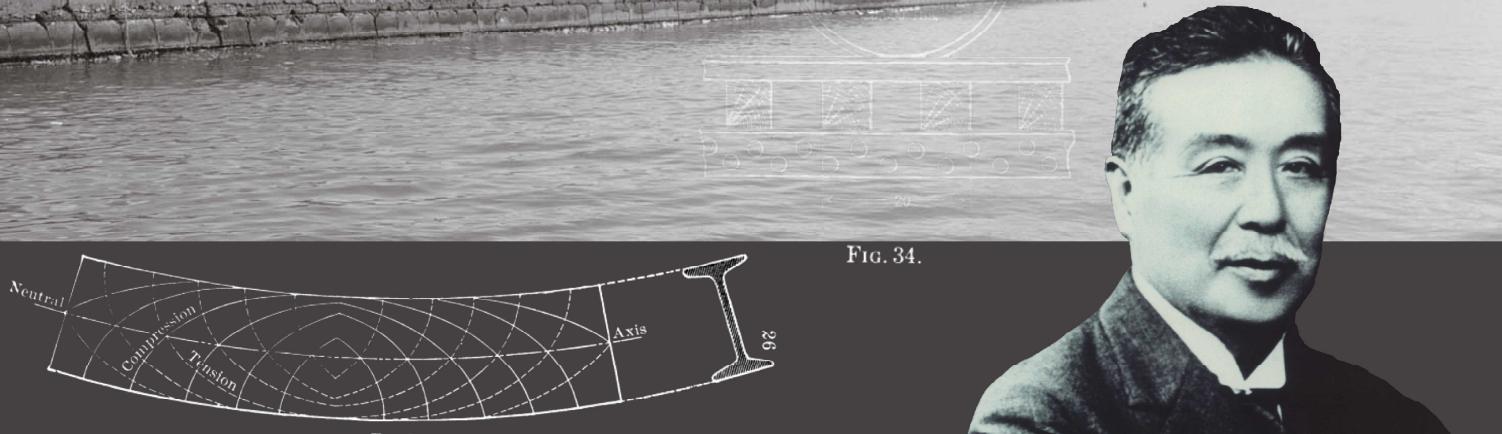


FIG. 34.

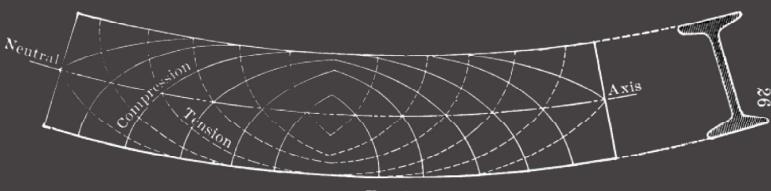


FIG. 5.

Isami Hiroi

(北海道開発局蔵)

廣井勇を顕彰する会

銅像建立記念誌

近代土木の先駆者 廣井勇について

廣井勇は今から160年ほど前に、現在の佐川町上郷に生まれました。植物学者牧野富太郎と同じ年で郷校「名教館」で共に勉強しました。8才で父を亡くし、おじさんを頼って一人で上京し、15才のとき、授業料が無料の北海道の札幌農学校に第2期生として入学しています。

同級生には生涯の友となる内村鑑三、新渡戸稲造がいました。卒業後貯金をして21才でアメリカに留学し、ミシシッピ川の河川工事などで働きながら最先端の土木技術を学びました。その時に「プレートガーダーコンストラクション」という橋を造る手引き書を英語で書いて出版し、優れた本であったためアメリカの多くの工事現場や学校で使われました。

27才で帰国した廣井は、北海道の小樽港湾事務所の初代所長になり、小樽港を日本海の荒波から守る北防波堤を建設しました。セメントに火山灰を混ぜたコンクリートでブロックを作り、そのブロックを斜め積みにする工夫をして、経済的で長持ちする丈夫な構造として、完成後100年以上たった今でも、立派に防波堤の役目を果たしています。

これらの業績は高く評価され、37才の若さで東京帝国大学工科大学の先生になりました。そして最大の業績は、先生として20年間に600人近い優秀な若者を世に送り出したことです。廣井は、遅刻を許さず、無駄使いをきらい、正義感を持ち、学生の長所を生かす指導を行いました。

教え子には、当時世界最大級の烏山頭ダムを造り台湾南部を穀倉地帯に変えた八田與一(石川県)を始め、伊藤長右衛門、青山士、久保田豊など、四国出身者では、堀見末子(佐川町)、宮本武之輔(愛媛県)、増田淳(香川県)らがいます。彼らは、出世することよりも民衆のために生きることを学び、港や堤防、ダム、道路、橋など多くの土木工事に力を注ぎ、日本の近代化に大きく貢献したのです。

四国地方は毎年のように台風などによる暴風雨災害が発生しており、南海トラフ大地震の発生も予想されています。「近代土木の礎を築いた清きエンジニア廣井勇」の業績を通して、土木工事の大切さや廣井の生き方を多くのみなさんに学んでいただければと願っています。

2021年4月吉日 廣井勇を顕彰する会
(廣井勇 説明板より)

「廣井勇を顕彰する会」これまでの活動

設立年月日 平成30年5月14日(月)
会員数 417名(令和3年4月1日現在)

「廣井勇を顕彰する会」設立趣意

廣井勇は高知県佐川町が生んだ偉大な土木技術者です。しかし、同じ年、同じ村に生まれた牧野富太郎と比べても、また札幌農学校同期生の内村鑑三や新渡戸稻造と比べても、その功績を知る人はあまりにも少ないことは残念なことです。

廣井勇の銅像を設立し、その業績と人となりとを、世に広く永く伝えることが、多くの方々に、良い仕事・人生を考える契機となることを願っています。

廣井勇を顕彰する会 会長 岡村 甫

設立準備会

発会式 平成29年 8月21日(月)
第1回 平成29年11月27日(月)
第2回 平成30年 3月12日(月)
第3回 平成30年 4月25日(水)



廣井勇を顕彰する会設立記念シンポジウム・ 設立総会・設立記念祝賀会

平成30年 5月14日(月) 場所:セリーズ

記念講演

「土佐が生んだ土木偉人 廣井勇に学ぶ」
講師 古川 勝三 氏



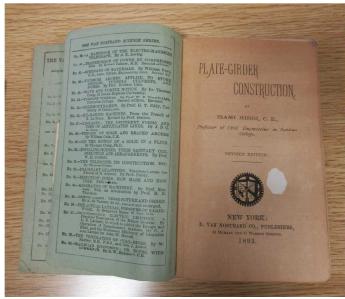
リレーション

「廣井勇の弟子と日本の近代化」
高知工科大学システム工学科群 浦西 真維



北海道視察

第1回 平成30年9月 3日(月)～ 5日(水)
第2回 令和元年7月28日(日)～30日(火)



主な訪問先

北海道大学

廣井勇の手書きノート、設計図、
廣井勇の著書など
クラーク像 新渡戸稻造博士頭彰碑
ポプラ並木

運河公園

廣井勇像・伊藤長右衛門像視察

総合博物館運河館

廣井勇博士直筆ノートなど

おたるみなと資料館

出前講座聴講、資料館視察、
船上視察、ケーソンヤード視察

小樽市役所

迫市長表敬訪問

第1回視察団

団長 岡村甫

参加者

右城猛 手島肇
工藤建夫 武山正人
藤森克泰 高野広茂
吉良勉 宮崎功司
久保田明 乗田昌司
安田省治 伊藤綱男
川崎聰明 野村洋一
堀田朋男 川邊敏弘
田川勇人 金子隼人

(敬称略・順不同)



第2回視察団

団長 堀見和道

参加者

大野良一
手島肇
嶋崎勝昭
稻田将人
岡崎健一郎
原田隆敏
田邊聖
大西誠一
安田省治

(敬称略・順不同)

幹事会

平成30年 8月 6日(月)
12月20日(木)
平成31年 3月18日(月)
令和元年 8月 5日(月)
12月17日(火)
令和2年 3月23日(月)



設立1周年記念講演会・令和元年度総会

令和元年 5月23日(木)

場所:セリーズ

記念講演



「土木技術者
廣井勇を
いかに伝えるか」

講師
大野 良一 氏



廣井勇の功績調査報告

「佐川が生んだ
廣井勇の
功績を訪ねて」



幹事
安田 省治

廣井家墓地 の清掃活動

平成30年 9月20日(木)
令和元年 9月24日(火)
令和3年 3月15日(月)



講演による啓発活動

日本技術士会四国本部公開講座 平成30年11月22日(木)

「近代土木の先駆者 廣井勇の功績を訪ねて」

代表幹事 吉良 勉

(株)建設マネジメント四国 平成30年12月15日(土)

「近代土木の礎を作った先駆者 工学伝道師 廣井勇に学ぶ」
特別会員 古川 勝三

放送大学高知学習センター公開講演会 平成31年 2月 9日(土)

「土佐が生んだ土木偉人 廣井勇の生涯」
特別会員 古川 勝三

高知県正昭会 令和元年10月12日(土)

「郷土の誇る近代土木の先駆者 廣井勇」

幹事 安田 省治

佐川中学校 令和3年 3月18日(木)

「廣井勇の功績を訪ねて」

幹事 安田 省治

粘土原型



廣井勇 銅像制作



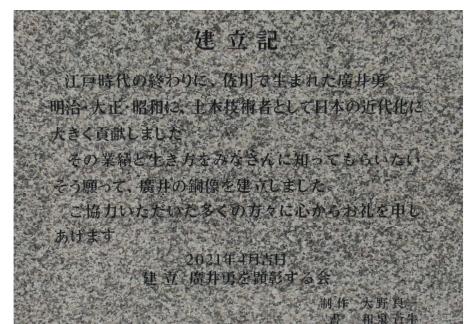
銅像（仕上げ前）



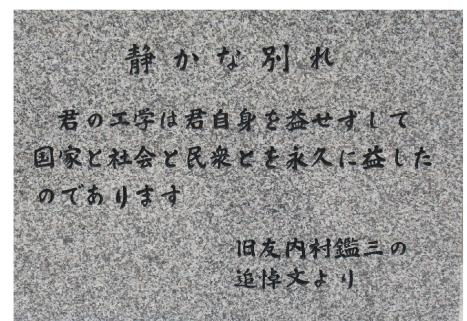
完成した廣井勇銅像

制作期間
令和元年10月～
令和3年4月

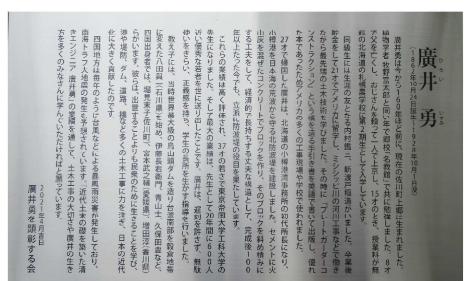
構想・原型制作
令和元年10月～令和2年4月
鋳造・銅像設置
令和2年 5月～令和3年4月



台座 背面



台座 側面



廣井勇 説明板(表紙に記載)

銅像 制作者 大野 良一 氏



1949年 高知県吾川郡仁淀川町生まれ
1972年 九州産業大学芸術学部卒業
1972年 母校高知工業高校で教職に就く
教職の傍ら彫刻制作活動
1974年 高知県展 無鑑査
1989年 新制作展 初入選

2006年 高知県展 功労者表彰
2012年 「シェイクハンド龍馬」を共同制作
(坂本龍馬記念館)
2014年 新作家賞受賞
2014年 高知県展理事
2014年 新制作協会会員
2016年 「寺田寅彦」銅像制作(オーテピア)

廣井勇銅像 除幕式

令和3年 4月17日(土)

除幕式 次第

挨 拶	佐川町長	堀見和道
	顕彰する会会長	岡村甫
祝 辞	顕彰する会特別会員	福田昌史
	衆議院議員	山本有二
	佐川町議會議長	岡村統正
寄附贈呈		
除 幕	顕彰する会副会長	右城猛
銅像報告	顕彰する会副会長	吉村文次
閉 会		(敬称略)



高知県の土木技術者を中心に、『廣井勇を顕彰する会』を立ち上げ、多くの方々のご尽力によって、生誕の地である佐川町に廣井勇先生の銅像を建立することができました。これからは、佐川町に来れば廣井先生の姿を見ることができます。

この地が廣井先生を感じることができる原点となり、多くの若者が土木技術者を目指し、ひいては日本が益々発展することを願っています。

廣井勇を顕彰する会 会長 岡村甫

廣井勇氏の功績振り返る

樽建小樽港湾が出前授業

小樽港港内見学も実施

【小樽発】小樽開港事務所は四日、同事務所などで出前講座を開講した。

受講したのは高知県から訪れた「廣井勇を顕彰する会」の二十人。北海道における廣井勇、札幌農学校教授、北海道厅技師、顧問としての活動と教え子たちの北海道開拓」と題した講座で足跡を学ぶとともに、小樽港内見学で北防波堤などを巡り、廣井氏の功績を辿った。

廣井勇を顕彰する会は、廣井氏の出生地である高知県の建設業者らを中心のことし五月に設立された。

今回、小樽開港事務所(現小樽港湾事務所)で初代所長を務めた廣井氏の功績を巡るために来道した。

開催に当たり、小樽港湾事務所の矢野隆博所長は、廣井氏の功績を顕彰し広く知つてもらう同会の活動に「築港の原点でもある小樽港湾事務所としても、喜ばしいこと」と語った。

また、廣井氏の「技術者の千年にわたる誉れとする

はずかしほは、ひとえに設

壇。

矢野所長は、廣井氏が小樽築港で日本初の外洋防波堤を完成させた要因や、そ

の完成によって港湾建設が全国展開していった功績を解説した。

一行はこのあと、

資料コーナー等の見

察した。

北海道通信 平成30年9月6日掲載
(北海道通信社提供)

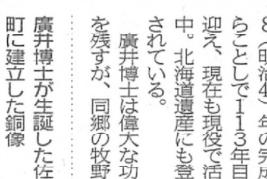
北海道建設新聞

(1)

2021年(令和3年)4月15日(木曜日)



近代土木の礎を築いた
清きエンジニア
廣井 勇



高知県の建設関連団体などで構成する「廣井勇を顕彰する会」は、廣井博士の生誕地である高知県佐川町に銅像を建立した。17日に佐川町との共催で除幕式を開催。日本初のコンクリート製防波堤となつた小樽港北防波堤を設計、東京帝國大学などの教授として優秀な土木技術者を数多く輩出し日本の近代化に貢献した功績と人となりを後世に伝える。

同会は、佐川町や高知県建築業協会、高知工科大が主催する会で、高知県佐川町に銅像を建立した。17日に佐川町との共催で除幕式を開催。日本初のコンクリート製防波堤となつた小樽港北防波堤を設計、東京帝國大学などの教授として優秀な土木技術者を数多く輩出し日本の近代化に貢献した功績と人となりを後世に伝える。

廣井博士の功績後世へ

顕彰する会 生誕地・高知に銅像

り金額は1,500万円
0円にも上った。
銅像は佐川町地区にある佐川文庫庫舎の敷地内に建てられ、「近代土木の礎を築いた清きエンジニア」と刻字されており。北防波堤が完成した際には私財を投げ打つて祝宴に招待されなかつた現場作業者を慰労したエピソードに代表される

大などが参考し2018年5月に設立。18、19年生ある内村鑑三、新渡戸稟次は小樽港北防波堤などの道内視察を実施している。北防波堤は1908年(明治41年)に完成し、現在も使われている。土木学会選奨の土木遺産や北海道

廣井博士は偉大な功績を残すが、同郷の牧野富

小樽港北防波堤を設計

事務所は四日、同事務所などで出前講座を開講した。受講したのは高知県から訪れた「廣井勇を顕彰する会」の二十人。北海道における廣井勇、札幌農学校教授、北海道厅技師、顧問としての活動と教え子たちの北海道開拓」と題した講座で足跡を学ぶとともに、小樽港内見学で北防波堤などを巡り、廣井氏の功績を辿った。

「廣井勇を顕彰する会」は、廣井氏の出生地である高知県の建設業者らを中心のことし五月に設立された。

今回、小樽開港事務所(現小樽港湾事務所)で初代所長を務めた廣井氏の功績を巡るために来道した。

開催に当たり、小樽港湾事務所の矢野隆博所長は、廣井氏の功績を顕彰し広く知つてもらう同会の活動に「築港の原点でもある小樽港湾事務所としても、喜ばしいこと」と語った。

また、廣井氏の「技術者の千年にわたる誉れとする

の千年にわたり誉れとする

はずかしほは、ひとえに設

広井博士の功績学ぶ 高知の「顕彰する会」小樽に



みなとの資料コーナーを見学する「廣井勇を顕彰する会」メンバー

日本初の本格的外洋防波堤である小樽港北防波堤を築いた廣井勇博士の故郷・高知県で5月に結成された「廣井勇を顕彰する会」(会長・岡村甫、高知工科大顧問)のメンバー19人が4日、小樽開港事務所を訪れ、廣井博士の功績や小樽港について学んだ。

同防波堤は1908年(明治41年)に完成し、現在も使われている。土木学会選奨の土木遺産や北海道

遺産にも認定されている。同会は偉大な土木技術者でありながら故郷ではあまり知られていない廣井博士の功績を周知するために設立。現会員は約350人で、博士の生まれた高知県佐川町で銅像建立を目指す。小樽港湾事務所では矢野隆博所長が講師役となり、廣井博士が北防波堤建設に当たって波に耐えられるコンクリートを作るなど周到な準備を重ね、波の力を算出する公式も編み出したことを解説。一行はその後、同会選奨の土木遺産や北海道

岡村会長は「実際に現場を見て、詳しい人に話を聞くことができる」と分からぬことがある」と述べた。会のホームページ上で紹介したい」と話していた。(渡辺佐保子)

北海道新聞 平成30年9月19日掲載
(北海道新聞社提供)

北海道建設新聞 令和3年4月15日掲載
(北海道建設新聞社提供)

廣井勇銅像除幕式

「顕彰する会」会員ら参加

●面開連＝廣井勇銅像除幕式は、顕彰する会の岡村勇会長や佐川町の堀見和道町長をはじめ、顕彰する会の会員らが参加し、佐川文庫庫舎前広場で開催された。

廣井勇は1862年に佐川町で生まれ、1908年には小樽港で国内初のコンクリート製防波堤

建設に携わった。「廣井山脈」と呼ばれる多くの技術者を育て、初代土木先駆者」と言われた。銅像建立に向けては、2016年に設立された

岡村会長は「廣井先生が担当した。良一氏が担当した。

は高知が生んだ最高の人間だが、世間にあまり知られていないのが残念。これからは、原点の佐川町出身の彫刻家の大野良一氏が担当した。

顕彰する会が中心となり、159の団体・企業

と878人から計150万円余りの寄付金を集めめた。銅像の制作は仁淀川町出身の彫刻家の大野良一氏が担当した。

岡村会長は「廣井先生の姿を見つてもらえる」と完成を喜んだ。

この地で廣井先生の姿を見つてもらえる」と完成を喜んだ。



建通新聞高知版
令和3年4月23日掲載
(建通新聞社提供)

新規

佐川観光拠点「うえまち駅」落成



祝 廣井勇銅像除幕式
令和3年4月17日

●明治期製造の列車客車などを展示するうえまち駅
●除幕された廣井勇の銅像(写真はいずれも佐川町甲)

一昭和初期に土讃線を走り、廃車後は1946年まで同町の青山文庫の閲覧室として親しまれた。観光活性化に生み、高さ約3メートル(合計

【佐川】歴史的な町
並みが残る高岡郡佐川町の上町地区に17日

が開業した。明治期に

者

、広井勇(1862年

備)木造平屋約150平方

車「ロ481号」大正

なうR四国から町が無

くとも、

車

を展示し、観光案内

ども行う。近くには町

出身で近代土木の先駆者

うえまち駅は町が整

存する四輪木造2等客

車

が開業した。

明治期に

者

、広井勇(1862年

備)木造平屋約150平方

車「ロ481号」大正

なうR四国から町が無

くとも、

車

を展示し、観光案内

ども行う。近くには町

出身で近代土木の先駆者

うえまち駅は町が整

存する四輪木造2等客

車

が開業した。

明治期に

者

、広井勇(1862年

備)木造平屋約150平方

車「ロ481号」大正

なうR四国から町が無

くとも、

車

を展示し、観光案内

ども行う。近くには町

出身で近代土木の先駆者

うえまち駅は町が整

存する四輪木造2等客

車

が開業した。

明治期に

者

、広井勇(1862年

備)木造平屋約150平方

車「ロ481号」大正

なうR四国から町が無

くとも、

車

を展示し、観光案内

ども行う。近くには町

出身で近代土木の先駆者

うえまち駅は町が整

存する四輪木造2等客

車

が開業した。

明治期に

者

、広井勇(1862年

備)木造平屋約150平方

車「ロ481号」大正

なうR四国から町が無

くとも、

車

を展示し、観光案内

ども行う。近くには町

出身で近代土木の先駆者

うえまち駅は町が整

存する四輪木造2等客

車

が開業した。

明治期に

者

、広井勇(1862年

備)木造平屋約150平方

車「ロ481号」大正

なうR四国から町が無

くとも、

車

を展示し、観光案内

ども行う。近くには町

出身で近代土木の先駆者

うえまち駅は町が整

存する四輪木造2等客

車

が開業した。

明治期に

者

、広井勇(1862年

備)木造平屋約150平方

車「ロ481号」大正

なうR四国から町が無

くとも、

車

を展示し、観光案内

ども行う。近くには町

出身で近代土木の先駆者

うえまち駅は町が整

存する四輪木造2等客

車

が開業した。

明治期に

者

、広井勇(1862年

備)木造平屋約150平方

車「ロ481号」大正

なうR四国から町が無

くとも、

車

を展示し、観光案内

ども行う。近くには町

出身で近代土木の先駆者

うえまち駅は町が整

存する四輪木造2等客

車

が開業した。

明治期に

者

、広井勇(1862年

備)木造平屋約150平方

車「ロ481号」大正

なうR四国から町が無

くとも、

車

を展示し、観光案内

ども行う。近くには町

出身で近代土木の先駆者

うえまち駅は町が整

存する四輪木造2等客

車

が開業した。

明治期に

者

、広井勇(1862年

備)木造平屋約150平方

車「ロ481号」大正

なうR四国から町が無

くとも、

車

を展示し、観光案内

ども行う。近くには町

出身で近代土木の先駆者

うえまち駅は町が整

存する四輪木造2等客

車

が開業した。

明治期に

者

、広井勇(1862年

備)木造平屋約150平方

車「ロ481号」大正

なうR四国から町が無

くとも、

車

を展示し、観光案内

ども行う。近くには町

出身で近代土木の先駆者

うえまち駅は町が整

存する四輪木造2等客

車

が開業した。

明治期に

者

、広井勇(1862年

備)木造平屋約150平方

車「ロ481号」大正

なうR四国から町が無

くとも、

車

を展示し、観光案内

ども行う。近くには町

出身で近代土木の先駆者

うえまち駅は町が整

存する四輪木造2等客

車

が開業した。

明治期に

者

、広井勇(1862年

備)木造平屋約150平方

車「ロ481号」大正

なうR四国から町が無

くとも、

車

を展示し、観光案内

ども行う。近くには町

出身で近代土木の先駆者

うえまち駅は町が整

存する四輪木造2等客

車

が開業した。

明治期に

者

、広井勇(1862年

備)木造平屋約150平方

車「ロ481号」大正

なうR四国から町が無

くとも、

車

を展示し、観光案内

ども行う。近くには町

出身で近代土木の先駆者

うえまち駅は町が整

存する四輪木造2等客

車

が開業した。

明治期に

者

、広井勇(1862年

備)木造平屋約150平方

車「ロ481号」大正

なうR四国から町が無

くとも、

車

を展示し、観光案内

ども行う。近くには町

出身で近代土木の先駆者

うえまち駅は町が整

存する四輪木造2等客

車

が開業した。

明治期に

者

、広井勇(1862年

備)木造平屋約150平方

車「ロ481号」大正

なうR四国から町が無

くとも、

車

を展示し、観光案内

ども行う。近くには町

出身で近代土木の先駆者

うえまち駅は町が整

存する四輪木造2等客

銅像建立寄附者一覧

(募集期間:令和元年7月1日～令和2年6月末日)

廣井勇銅像の建立において、総額15,090,300円のご寄附を賜りました。ご賛同いただいた皆様に感謝申し上げます。

企業・団体 159者

青木建設株式会社
有限会社有澤建設工業
株式会社アンプル
株式会社生田組
株式会社イチイコンサルタント
有限会社稻田建設
豚座建設株式会社
株式会社伊与田組
入交建設株式会社
入交道路施設株式会社
岩井建設株式会社
有限会社梅原建設
エム・エムブリッジ株式会社
大川建設株式会社
有限会社大北工務店
有限会社大谷組
株式会社大塚建設工業所
尾崎建設株式会社
有限会社織田建設
有限会社片岡組
株式会社桂建設
株式会社上岡工務店
株式会社新創
(旧 関西新洋米村株式会社)
有限会社希秀
株式会社楠瀬土建
久保建設株式会社
一般社団法人建設コンサルタント協会
株式会社建設マネジメント四国
株式会社建連
構営技術コンサルタント株式会社
高大建設株式会社
有限会社郷田組
株式会社高知県建設会館
一般社団法人高知県建設業協会
高知県建設業協会支部長会
高知県建設業協同組合
高知県建設産業団体連合会
高知県港湾空港建設協会
高知県コンクリート製品工業組合
一般社団法人高知県測量設計業協会
公益社団法人高知県土木施工管理技士会
株式会社高知丸高
高知緑化建設株式会社
株式会社晃立
小濱建設有限会社
五洋建設株式会社高知営業所
株式会社近藤工務店
栄宝生建設株式会社
有限会社坂本工務店
サクセス工業株式会社
有限会社佐々木建設
有限会社里見建設

株式会社山興
株式会社サン土木コンサルタント
株式会社三洋測量設計
株式会社CDRコンサルタント
四国開発株式会社
一般社団法人四国クリエイト協会
株式会社四万川総合建設
株式会社新晃総合コンサルタント
新進建設株式会社
杉本土建株式会社
須工ときわ株式会社
有限会社西南建設
セイホ工業株式会社四国支店
株式会社セイミツ
株式会社西和コンサルタント
全国生コンクリート工業組合連合会
有限会社創友
株式会社第一コンサルタント
株式会社大一林組
有限会社大栄建設
大旺新洋株式会社
大勝建設株式会社
太陽建設株式会社
大和興業有限会社
株式会社タカチ測建
株式会社高橋組
有限会社高橋建設
株式会社拓新技術コンサルタント
有限会社竹村綜合建設
田中建設株式会社
有限会社田中建設
株式会社田邊建設
有限会社谷一組
株式会社谷渕組
有限会社谷脇組
有限会社谷脇工業
有限会社築山建設
鶴松建設株式会社
テクノウェーブ株式会社
有限会社手箱建設
株式会社土居建設
東亜建設工業株式会社四国支店南
四国営業所
東洋建設株式会社四国支店
株式会社道路交安
都市開発コンサルタント株式会社
株式会社都市美粧建設
株式会社轟組
中山興業株式会社
有限会社中山工業
鍋島建設株式会社
有限会社西起組
株式会社西土佐建設
株式会社西森建設
株式会社ニップロ

一般社団法人日本海上起重技術協会四国支部
一般社団法人日本橋梁建設協会四国事務所
一般社団法人日本建設業連合会四国支部
日本道路株式会社高知営業所
一般社団法人日本道路建設業協会四国支部
株式会社仁淀建設
有限会社野波建設
有限会社畠山建設
有限会社葉山土木コンサル
東山建設株式会社
福留開発株式会社
有限会社藤田組
有限会社藤本組
有限会社藤原工務店
株式会社双葉造園
株式会社不動テトラ高知営業所
一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会四国支部
北陵工業株式会社
前田建設工業株式会社
有限会社又川土建
有限会社松浦建設
有限会社松坂建設
有限会社松葉建設
有限会社松元建設
有限会社丸重建設
有限会社三浦建設
株式会社三谷組
ミタニ建設工業株式会社
有限会社三本建設
株式会社宮崎測量設計コンサルタント
みらい建設工業株式会社四国営業支店
有限会社森岡工務店
有限会社山尾建設
有限会社矢正建設
有限会社山戸造園土木
株式会社山豊・東部
有限会社山又建設
山本建設株式会社
山本建設工業株式会社
有限会社吉永土建
有限会社ヨンモト設計コンサルタント
有限会社依光建設
株式会社龍生
株式会社ロイヤルコンサルタント
株式会社若竹組
若築建設株式会社四国支店

匿名希望 7者

(順不同、敬称略)

個人

正典樹三之治夫一
正雄健清憲健隆覺哲一正一尚芳孝達利祐万夫
功弓幸忠達哲守伸研敬夫研淳潔昌雅沙雅明浩準慎孝丈夫綱哲學允人義叶輔重敦景敬準子士
司輝郎可則文夫浩祐夫祐夫作司雄也治而三
青木澤塚藝月月元山倉南阿部阿部荒有有安飯生池石石石石石石泉和出井礪市市一伊伊伊伊伊伊伊伊乾乾井井井井

878人

谷 加奈	晋也	野並 伸介	弓子 陽三	伸一 卓巳	賢二 公満
谷 政志	増修	野々村 毅	美香 陽子	ち司 明仁	生年彦 太朗
谷岡 哲也	健一	野村 昇	克泰 陽	義裕 文佳	満康 満年彦
谷川 斎	実夫	野村 満雄	究 健	博怜 港行	彦良 和錦
谷川 博明	正博	野村 洋一	哲 吾郎	木 敏了	彦治 光幸
谷下 雅義	祐一郎	成知昌	隆三 重	神木 志	彦治 諭
谷田 一男	寛一	裕章	勝 倭	木 善吉	直也 崇剛
谷本 晋作	聖二	好成一	里 勝	木 延吉	弘哉 健龍
田内 克彦	修	好昌久	里 勝	木 直	幸直 幸壽
田原 杏子	文雄	東洋一	里 勝	木 直	雅裕 直
玉井 信行	聖士	厚夫	里 勝	木 代	良晋 博
田村 圭	健	雄	里 勝	人 雄	成公
田村 隆幸	武則	雄	里 勝	雄 弥	稔祐
田村 央	秋人	雄	里 勝	造人	謙英
田村 祐一	誠一郎	雄	里 勝	治	生起
段松 友美	大學史	雄	里 勝	子	直萌
近澤 章友	博之	雄	里 勝	子	剛昌
千葉 辰政	義男	雄	里 勝	初	なつき
辻 幸和	眞樹	雄	里 勝	司 正貴	初義
津田 寛一郎	輝	雄	里 勝	富由人	英剛
土屋 智史	滉樹	雄	里 勝	一生	正貴
筒井 芳典	太郎	雄	里 勝	孝省	正啓
恒石 圭介	和也	雄	里 勝	洋	正啓
津野 修	隆太	雄	里 勝	久	正啓
坪田 沙希	弘文	雄	里 勝	康	龍一
津吉 肇	成川	雄	里 勝	大	実
手島 順也	西内	雄	里 勝	滋	滋
出張 晃	西尾	雄	里 勝	舜	舜
寺内 正範	西岡	雄	里 勝	治	治
土居 生代	西岡	雄	里 勝	正	哉
土井 悟志	西川	雄	里 勝	邦	道
土居 徹	西川	雄	里 勝	隆	稔
土居 土居	西川	雄	里 勝	矢	健
土居 正也	西河	雄	里 勝	山	志
十河 智麻	西田	雄	里 勝	内	正幸
藤堂 卓英	垂水	浩	里 勝	山	聰
徳橋 連	西原	滋	里 勝	崎	智達
徳弘 昭宏	西村	修	里 勝	山	美怜
戸田 忠男	研了		里 勝	田	久男
戸田 誠	紹寬		里 勝	中	有華
百々 宣博	西村	雄一郎	里 勝		彬文
富田 洋史	泰子				
富永 敏絵	保				
友 和弘	尚人				
友永 久美子	日出男				
豊田 員大	梨佳				
豊永 明香	眞二				
内藤 浩	晶祥				
永井 紀彦	二宮	大輔			
中上 昌二郎	二羽	淳一郎			
中尾 成邦	怒和	一進			
長岡 友和	能津	恭介			
中越 紀子	野上	稔彦			
長崎 亜由美	野口	稔博			
長崎 悟史	野並	孝希			

匿名希望 200人
(順不同、敬称略)

廣井勇を 顕彰する会

高知県高知市介良甲828番地1
(株)第一コンサルタンツ内 (担当:堀田)
TEL 088-821-7770 FAX 088-821-7771
廣井勇を顕彰する会HP <https://www.hiroi-isami.com/>



H P

Facebook